

# 競輪事業の持続的発展のための 課題解決に向けて —具体的な取組のための制度設計—

## これまでの進捗報告【要約版】

令和2年6月15日

公益財団法人 J K A  
公益社団法人 全国競輪施行者協議会  
一般社団法人 日本競輪選手会

大項目	項目	取組
(1) 「競輪最高会議」の抜本強化		競輪最高会議の会則を改訂し、競輪事業の経営全般に係る意思決定を行うこと、会議メンバーは関係団体の幹部（会長、理事長、専務等）であること等を明記。同会議の事務局を強化し決定事項を下部会議体にトップダウンで指示できるようにし、また同会議に外部アドバイザーを参画させ意思決定の透明性を図った。
(2) J K Aの組織・働き方改革及び人材の能力開発	<p>I. J K Aの組織・働き方改革及び人材の能力開発</p> <p>1. 経営戦略・業務評価部の権限・体制強化</p> <p>I. 2. 売場を定点観測できる組織体制整備</p> <p>I. 3. 競技実施部門等の各部門の業務見直し・省人化・人的リソース再配分</p> <p>I. 4. 中途採用の強化と適材適所の専門人材配置</p> <p>I. 5. 人事評価制度の人事管理への反映</p> <p>I. 6. 組織の透明性確保・組織内融合強化</p> <p>I. 7. 業界・組織の目指す方向の設定</p>	<p>経営戦略部の権限強化として2019年度以降の年度方針策定、事業計画策定及び予算編成について、経営戦略部が意思決定や査定の権限を持つ体制とした。 コンサルティング会社からの報告を基に、組織の見直しのための人事部門の強化等を行い、組織の見直しを実施した。</p> <p>競輪場での定点観測をする体制を整えたほか、全車協や民間ネット販売事業者との個別意見交換会を実施するなど、売場の傾向を把握する体制を整え、施策の実現や協業したキャンペーンを行っている。</p> <p>複数の検査工程を集約できる自転車検査器具を開発することとしたほか、選手管理業務の工数を大幅に削減し省人化を図るとともにヒューマンエラーをなくすため、選手情報をICカードに付加した業務システムの構築をし、2019年中にそれぞれ開発・作製を終え、全競輪場への展開を完了し運用を開始したことで、作業手順の統一、作業効率向上を図った。</p> <p>新卒職員及び専門知識を有した中途職員等の採用を計画実行することで、職員年齢構成のアンバランスの是正と専門的知識を有する人材の確保により組織強化を行っている。 女性活用促進に関する取組みでは女性職員1名を課長職に登用するとともに、将来の登用候補者育成の観点から、課長補佐級及び係長級への昇格人事を行った。 広報アドバイザーが広報戦略ミーティングに出席することで、適切なアドバイスがあり、広報事業に反映させている。</p> <p>人材育成の強化のための人材マネジメント制度を2018年10月より実施し、考課基準について、企画立案等業務と開催現場業務の特性を踏まえた独自の考課基準を策定し、人材育成に繋げる仕組みを整え本格実施している。</p> <p>外部から女性役員に登用したほか、理事の担当部署の見直しを行い、理事の専決規程を設定した。また、役員ワークショップを年数回実施し経営理念や行動指針などについて、また、ギャンブル等依存症の理解を深めた。</p> <p>(1) 「競輪最高会議」の抜本強化のとおり。</p>

大項目	項目	取組
(2) J K Aの組織・働き方改革及び人材の能力開発	Ⅱ. 投資のための財源確保	
	Ⅲ. 施行者間調整ルールとインセンティブ	(3) 投資のための財源確保、(4) 施行者間調整ルールとインセンティブの仕組み構築のとおり。
	Ⅳ. 意思決定プロセスの見直し	(1) 「競輪最高会議」の抜本強化のとおり。
	Ⅴ. 競輪・オートレースと社会との繋がり強化 1. 補助事業	2020年度の補助方針は、自転車活用推進法やギャンブル等依存症対策基本法、東京オリンピック・パラリンピック開催への対応等、社会環境の変化を踏まえるものとした。2021年度の補助方針においては「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマで実施される2025年日本国際博覧会への支援や感染症拡大防止策への対応等についても言及する予定とした。
	Ⅴ. 2. 250開催	250m競走路を用いた屋内型新競輪場における250KEIRIN(仮称)開催に向け、2018年度から250開催部会を設置し課題への対応策を検討し、規程等の整備や競走に係わるシステム構築を行っている。
(3) 投資のための財源確保		法律改正断念により、モデル事業を実施する施行者に対するPR支援という形に変えて2019年度の上半期よりPR支援を実施しているほか、競輪事業の持続的発展に向けた取組のための財源確保策として「競輪事業活性化競輪」の実施に向けて検討している。
(4) 施行者間調整ルールとインセンティブの仕組み構築		
(5) 厳格なモニタリングと是正措置の仕組みの構築	Ⅰ. 複数団体にまたがる案件	SNSを活用した情報発信としてTwitter、Facebook、Instagram、LINEに話題のレース、話題の選手、競輪界のトピックスを随時、更新掲載している。 魅力的な映像の制作・発信として競輪中継番組に「バーチャルCG」及び「トラッキングシステム」を導入した。 「競輪選手会オフィシャルファンクラブ」を創設した。
	Ⅱ. J K Aの組織・働き方改革及び人材の能力開発に関する具体的な取組	(2) J K Aの組織・働き方改革及び人材の能力開発のとおり。
(6) J K Aが行う社会還元		補助事業のほか、各公営競技団体と緊密に情報共有を行い、啓発週間を設けギャンブル等依存症対策についてポスターなどを作製し競輪場、オートレース場、場外車券売場に掲示し周知を図った。